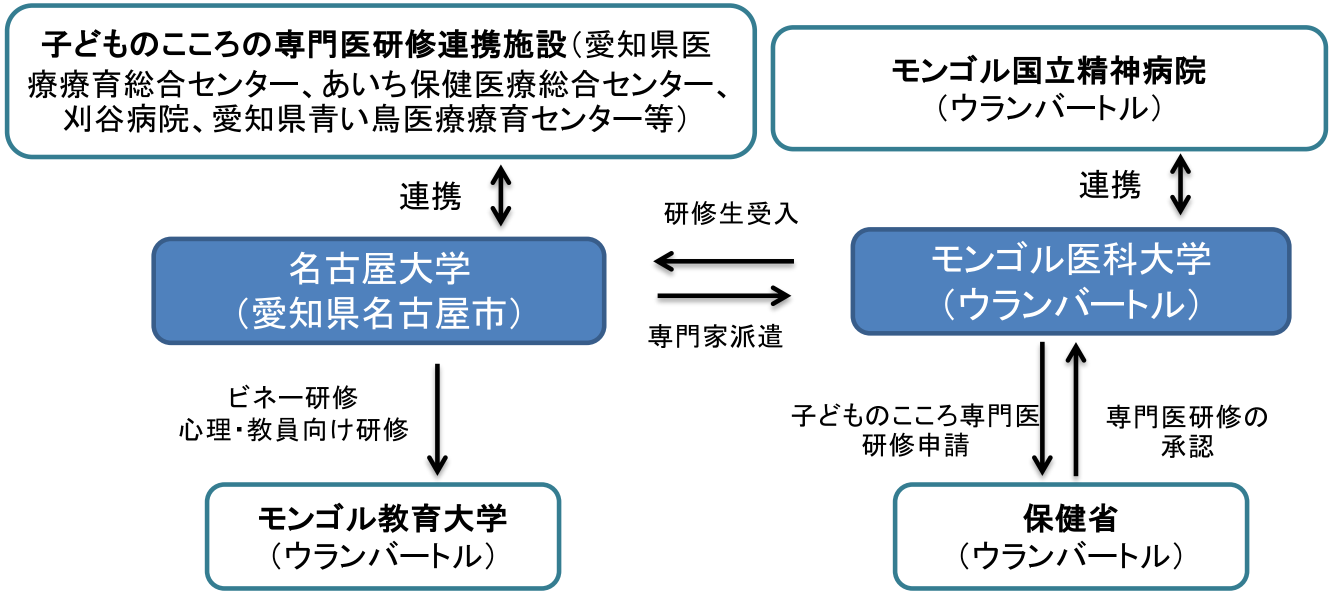
【別添4】事業概要のまとめ（日本語版）

作成日：令和7年5月30日

モンゴル国における子どものこころの診療を行うことの出来る医師の養成

① モンゴル国の子どもの7人に1人が何らかの精神疾患を経験していると考えられる一方で、同国には子どものこころの診療を行うことの出来る医師は数少なく、コメディカルも含めて支援体制は全く整備されていない。
② モンゴル国における子どものこころの診療を行うことのできる医師の養成システム構築を目的とする。
③ モンゴル医科大学が主体となって行う6か月の公式研修と連動して研修カリキュラムを開発し、子どものこころの専門医養成及び、自立・継続的な養成を行っていくための指導医養成と研修システム構築を行う。また、発達支援に必要な田中ビネー知能検査の研修を行う。
本事業は児童精神医学および臨床心理学の専門機関である名古屋大学医学部親と子どもの心療科及び心の発達支援研究実践センターが、専門医研修連携施設の協力を得て、モンゴル医科大学、モンゴル国立精神病院、モンゴル教育大学と協働して実施する。
④ 事業終了時に30名以上の子どものこころの専門医を養成することで、同国において現在必要最低限の診療体制が整備される。診療体制（研修施設）の整備及び指導医の養成により、同国での専門医養成システム構築が期待できる。



＜研修スケジュール予定＞

8月　専門家派遣（3名）：経験者研修
・前年度研修修了者への研修

10月　専門家派遣（6名）：専門医基礎研修
・児童精神医学の基本研修（系統講義）
・心理・教員向けの子どもこころ研修会
・モンゴル精神医学会での研修・啓発

11月　ビネー研修（20名）（オンライン）
・田中ビネー知能検査の検査者養成研修

12月　研修生受け入れ（10名）：専門医応用研修
・児童精神医学の応用実践研修実施

1月　専門家派遣（4名）：普及・報告会
・本事業の普及・展開のための討議および報告会実施